

資生堂 環境移送技術を有する イノカと連携協定を締結

資生堂は、「人と自然が共生する世界をつくる」をビジョンに掲げ、従来の実海域からのアプローチではなく、任意の海洋環境をモデル化し、ラボレベルでの環境解析を可能にする「環境移送技術」を有するスタートアップ企業、イノカと連携協定を締結した。化粧品成分が海洋生態系に対して与える影響を評価するための今回の連携では、海洋生物に甚大な影響をもたらすことが予測される「海水温の上昇」をはじめ、想定される未来の環境変化のシナリオをラボ内の水槽に再現することにより、日やけ止めで使用している成分など、化粧品の様々な成分が、サンゴ礁さらにはその他の生物を含めた海洋環境全体に与える影響を評価する。

同社はこれまでも、け止めの使用状況に近い海洋中での紫外線防御剤 条件でのサンゴ群体への濃度分布をシミュレーションした結果と、琉球大学理学部 中村崇准教授との共同研究にて実施した紫外線防御剤のサンゴ群体への影響評価を組み合わせ、同社が使用する各種紫外線防御剤について、実際の日や



イノカ 高倉CEO(左)、資生堂 東條CTO

同研究で得られた結果は、両者との共同研究で得られた結果は、懸念が極めて低いことを確認している。

技術を融合させることで、変化が著しいサンゴ礁生態系の複雑な状況を正確にとらえた環境評価を実施し、人にも地球にも優しい商品開発を目指す。

また、商品開発にとどまらず、将来的には、共同研究によりグローバルな環境評価手法の開発に着手し、多くの企業での活用を目標とする。さらには、TNFDの発足など、企業活動と自然環境との関係性に関する透明性・客観性のある情報開示が求められる状況を踏まわり、日本の海洋生態系とGPTを連携させることで、環境評価の技術基盤確立と実装が大きく進む。グローバルな評価手法としての応用も視野に入れている。当社のサステナブルなもののづくりを加速させ、地球環境にも優しい化粧品を提供していく。

GPTを活用した独自AIチャット機能の提供を開始

AppBrew

国内最大級的美容プラットフォーム「LIPS (リップス)」を運営するAppBrew (アップブリュー) は、独自のAI技術を活用したLIPSアプリ内で使用できる拡張機能「LIPS AI」シリーズの第2弾として、GPTを活用した独自チャット機能「LIPS AI バーチャルビューティアドバイザー」を開発した。5月上旬に特定のユーザーを対象に先行リリースを行い、5月10日より同機能の提供を正式に開始した。

昨年11月にOpenAIが一般公開した、言語モデルGPTを活用した対話サービス「ChatGPT」は、公開1週間で100万ユーザーを獲得するなど多くの話題を集め、今や様々な領域で活用され始めている。同社ではその潮流をキャッチアップし、LIPSが保有する約390万件以上の投稿や商品データをベースに、GPTを活用した独自のAIチャット機能の開発に着手した。

開発にあたって実施したユーザーリサーチでは、対話型AIに対するイメージとして「面白い」「求めている回答が多い」「求める回答が得られない」などの声があった。同社ではこうした懸念点を払拭すべく、LIPSのクチコミやデータベースを活用して回答を生成し、適切かつ誰にとってもわかりやすい流暢な日本語での返答ができるよう試行錯誤を繰り返した。

今回、LIPSアプリ内でリリースした「LIPS AI バーチャルビューティアドバイザー」は、独自のAI技術を活用したサービスを提供することができた。既に数万人のアプリユーザーが使用しており、リリース後も回答の精度を高める改善を毎週行っている。日々投稿される高いユーザーのクチコミに加え、正式リリースに伴い多くのユーザーから寄せられる質問を学習していくことで、「LIPS AI バーチャルビューティアドバイザー」は今後さらに可能性を高められるものと期待している(執行役員/ブランドパートナー 事業部長 鈴木光氏)

記者の窓

増加の一途を辿る体重に危機感を覚え、まずは栄養バランスが崩れ切っている食事から見直すべく、いろいろと調べていると、「完全栄養食」というものを目にした。

完全食とは、人間が健康を維持するために必要な栄養素がすべて含まれた食べ物だ。完全食といえる食品は、

完全栄養食

イブの商品なども発売されており、栄養バランスを整えたい人だけでなく、タイプを重視する人からも人気だ。セブンイレブンでe.me (サイクルミー) の取り扱いを本格的に開始する。サイクルミーは、毎日の生活リズムを整えることをコンセプトに

厚生労働省が年齢や性別ごとに定めた「日本人の食事摂取基準」に示された必須栄養素を満たしているものに限られる。ドリンクタイプは、今年20日より前述の「なに」を食べるかという要素に「いつ」食べるかという要素を加えたウェルビーイングブランド「Cyber」は、「朝におすすめ」「昼におすすめ」「夜におすすめ」の商品を計12品発売する。

忙しい現代人にとって、必要な栄養が摂取できて、朝昼晩の食事内容も決めてくれる商品は貴重な存在になりそうだ。(郡)

「機械的な回答しか得られない」「日本語として意味の通らない回答が多い」「求めている回答が得られない」などの声があった。同社ではこうした懸念点を払拭すべく、LIPSのクチコミやデータベースを活用して回答を生成し、適切かつ誰にとってもわかりやすい流暢な日本語での返答ができるよう試行錯誤を繰り返した。

今回、LIPSアプリ内でリリースした「LIPS AI バーチャルビューティアドバイザー」は、独自のAI技術を活用したサービスを提供することができた。既に数万人のアプリユーザーが使用しており、リリース後も回答の精度を高める改善を毎週行っている。日々投稿される高いユーザーのクチコミに加え、正式リリースに伴い多くのユーザーから寄せられる質問を学習していくことで、「LIPS AI バーチャルビューティアドバイザー」は今後さらに可能性を高められるものと期待している(執行役員/ブランドパートナー 事業部長 鈴木光氏)

GPTを活用
LIPS AI バーチャルビューティアドバイザー(β)をリリース
LIPS AI シリーズ